

第13回



全国市議会議長会 研究フォーラム



日時

平成30年

11月14日(水)・15日(木)

13:00~(開場・受付12:00~) 9:00~(開場8:30~)

会場

宇都宮市文化会館
栃木県宇都宮市明保野町7-66

定員

2,200名

参加費

7,000円



開催趣旨

地方分権改革の進展や地方創生の推進により、都市に対して基礎自治体としての役割が一層期待される中、市民の負託と信頼に的確に応えるべく議会の更なる機能向上策を研究することを目的とする。

プログラム

■第1日目 11月14日(水)

12:00	開場・受付
13:00	開会式
13:20	第1部 基調講演 「共生社会と地方自治体(仮)」 宮本 太郎 中央大学法学部教授
14:20	休憩
14:40	第2部 パネルディスカッション 「議会と住民の関係について(仮)」 コーディネーター 江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長・教授 パネリスト 今井 照 地方自治総合研究所主任研究員 本田 節 有限会社ひまわり亭代表取締役 神田 誠司 朝日新聞大阪本社地域報道部記者 小林 紀夫 宇都宮市議会議長
16:40	次期開催地挨拶
16:50	次期開催地挨拶終了
18:00	第3部 意見交換会【会場＝宇都宮グランドホテル】
19:00	意見交換会終了

■第2日目 11月15日(木)

8:30	開場
9:00	第4部 課題討議 「議会と住民の関係について(仮)」 コーディネーター 江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長・教授 事例報告者 4市(予定)
11:00	閉会式
11:30	第5部 視察

基調講演



宮本 太郎 みやもと たろう
中央大学法学部教授

1958年東京都生まれ。中央大学大学院法学研究科修了。立命館大学法学部助教授、北海道大学法学部教授などを経て、2013年より現職。単著に「共生保障「支え合い」の戦略」(岩波新書)、「生活保障 排除しない社会へ」(岩波新書)ほか多数。編著に「転げ落ちない社会 困窮と孤立をふせぐ制度戦略」(勁草書房)など。安心社会実現会議委員、内閣府参与、総務省顧問、男女共同参画会議委員、中央教育審議会臨時委員、社会保障制度改革国民会議委員など歴任。現在、日本学術会議特任連携委員、社会保障審議会委員、東京都税制調査会委員、全国社会福祉協議会理事、「月刊福祉」編集委員長、一般社団法人「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」代表理事など務める。

パネルディスカッション



コーディネーター
江藤 俊昭 えとう としあき
山梨学院大学大学院研究科長・教授

1956年東京都生まれ。1986(昭和61)年中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学、博士(政治学)。専攻は地域政治論。三重県議会改革諮問会議会長、鳥取県智頭町行政改革審議会会長、第29次第30次地方制度調査会委員、総務省「町議会あり方に関する研究会」委員等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「議員報酬等に関する研究会」委員長、全国町村議会議長会特別表彰審査委員、地方自治研究機構評議員、など務める。主な著書に、「議会改革の第2ステージ―信頼される議会づくりへ」(ぎょうせい)「自治体議会の政策サイクル」(編著、公人の友社)ほか多数。現在「ガバナンス」(ぎょうせい刊)、「議員NAVI」(第一法規)連載中。



パネリスト
神田 誠司 かんた せいじ
朝日新聞大阪本社地域報道部記者

1983年朝日新聞入社。社会部、政治部記者として地方自治、地方分権を取材。両部でデスクを務めた後、2005年から13年間、地方自治担当編集委員。地方議会のあり方についても、全国議会アンケートをもとにした報道や、連載「議会未来形～不要論を超えて」や、単発記事などで発信を続けている。2018年4月から現職。著書には「今、地方で何が起きているのか」(共著・公人の友社)、「釜ヶ崎有情」(講談社)。今秋には学芸出版社より、地方創生のモデルとして注目される徳島県神山町のルポが刊行予定。



パネリスト
今井 照 いまい あきら
(公財)地方自治総合研究所主任研究員

1953年生まれ。博士(政策学)。東京大学文学部社会学専攻課程卒業。1977年から東京都立学校事務、大田区役所(企画部、産業経済部、地域振興部等)を経て、1999年から福島大学行政政策学類教授。2017年より現職。著書「地方自治論義」「自治体再建」(いずれも、ちくま新書)「図解よくわかる地方自治のしくみ(第5次改訂版)」(学陽書房)「福島インサイドストーリー―役場職員が見た原発避難と震災復興」(公人の友社)ほか多数。



パネリスト
小林 紀夫 こばやし のりお
宇都宮市議会議長

1961年宇都宮市生まれ。帝京大学大学院経済学研究科修士課程修了。県職員を経て2007年5月から宇都宮市議会議員を務め、現在3期目。その間、環境経済常任委員会委員長、議会運営委員会委員長、議会制度検討会議委員、農業委員、監査委員を歴任。議会制度検討会議委員時代には、「一般質問における対面方式、質問方式の選択制」や「執行部の反問権付与」などの実施、2013年に制定された宇都宮市議会基本条例の制定に尽力。2015年5月から2016年3月まで副議長を務め、2018年3月に第72代宇都宮市議会議長に就任。現在議会全体の政策形成能力を高めていくことを目指し、議会改革に取り組んでいる。



パネリスト
本田 節 ほんだ せつ
有限会社 ひまわり亭代表取締役
食・農・人総合研究所 リュウキンカの郷主宰

熊本県唐津郡相良村の専業農家に生まれ、熊本県立人吉高等学校卒業後、地元で農協に就職。現在3児の母。37歳の時に1年間のガンとの闘病生活を体験。それをきっかけとして、より深く食・農・命について考えるようになる。その後「ひまわりグループ」を結成し、ボランティアやまちづくり活動を始める。そこで出会った仲間たちと地産地消「食」を地域資源とした拠点、《郷土の家産料理 ひまわり亭》を立ち上げ現在に至る。生来おしゃべり大好き!おせっかい大好き!お料理大好き!そして人間大好き!ということで、全国を講演等で年間の半分近くを走りまわっている元気なお母さん。

課題討議

コーディネーター
江藤 俊昭 えとう としあき
山梨学院大学大学院研究科長・教授
事例報告者
4市(予定)